



フリムスにあるカウマゼー(湖)



フォラブ氷河は絶好のオフピステ



アジア諸国のメンバースキー会議



レストラン、天文、気象台のギャラクシー



スキーエリアがオフピステを開放



ベルニナ山群を遠望しながらパウダージェン



最新設備を誇るラークス、フリムス



スイスが誇る景観列車の氷河特急



横幅の広い整備されたピステが自慢

チューリッヒ空港からも約140km、車で1時間45分アクセスの良さ。エリア周辺の景観も世界文化遺産サルドーナ山塊をはじめ、そこに入り込む美しい渓谷の数々、氷河特急のハイライトです。スイスのグラインドキヤニオン、フォルダラーイン渓谷の景色も素晴らしい、そこにはロマンシュ語の地名が数多く残り、スイスの歴史、文化、風景がそこに凝縮されています。そして「テクトニック・サルドーナ断層」が東側に独特な山肌で聳え立っており、3州に渡る広範囲に広がる山塊を

東スイスのスキーエリアといえ、グラウビュンデン州に位置する国際的なリゾート、サンモリッツ、ダヴオスが有名です。しかし、同じ州には、スイスが世界に誇る景観列車「氷河特急」の運行路線沿いにいくつもの壮大なスキーエリアがあります。リフト、ゴンドラなどの山岳交通設備、スイス東部ならではの唯一の景観を持つ3大スキーエリアを紹介しましょう。

氷河特急のレーティッシュ鉄道区間のフォードーライン渓谷に位置する
3大スキーエリア「フリムス、ラークス、ファレラ」

スイス最古の街クルルの東側には、スイス最大規模を誇る「レンツァハイデ&アローザ」、「ダヴオス」と合わせて壮大なスキーエリアを一度の旅で滑り巡れる距離に点在しています。氷河特急沿線の冬の景観も特にデセンティス〜クール区間は、風光明媚でスイス屈指の渓谷の数々、美しい森、ロマンシュ語の伝統と歴史がスルセルヴァン地方の風景に変わります。スキーの合間にスイスの画家カリジエの故郷や壁画が残る教会のあるトゥルン、ヴェツラの村など散策してみるのも良いでしょう。

形成、その西側の雄として銀色に光り輝くフォラブ氷河とのコントラストがとても美しい景観を見せてくれます。

両ピークの合間に広がる山々が広大なゲレンデ

左側から「ファレラ」、中心に位置する「ラークス」、そ



して東側の「フリムス」と全エリアがリンクしています。総延長224kmの規模、標高1100m〜3018mの標高差約2000m標高を中心に合計28基のリフト、ゴンドラ、機動力がとも効率がよく54%のピステへとアクセス

して東側の「フリムス」と全エリアがリンクしています。総延長224kmの規模、標高1100m〜3018mの標高差約2000m標高を中心に合計28基のリフト、ゴンドラ、機動力がとも効率がよく54%のピステへとアクセス

世界自然遺産サルドーナ

フリムス、ラークスの地元の人々に、「テクトニック・サルドーナ断層」の話をするとても喜んでくれます。グラールス衝突断層として、三畳紀、ジュラ紀にわたる堆積岩の接触面が約100km以上にわたって山塊から隆起しています。世界自然遺産に指定されているので、エリア周辺の景観も世界遺産サルドーナ山塊をはじめ美しい渓谷が続きます。



©IG Tektonikarena Sardona, Foto: Ruedi Homberger

滞在中には氷河特急に乗って西はライン渓谷に沿って、「デセンティス」のパウダースキーエリアへ。東は、雄大で湖水へ滑り込む迫力の「レンツァハイデ&アローザ」、さらに「ダヴオス」へスイススキーの奥深い魅力を感じてみてください。

ぜひ体験してみてください。そしてさらにレーティッシュ鉄道のハイライトでもあるスイスのグラインドキヤニオン、フォルダラーイン渓谷の景色もスキーヤーの心を掻き立ててくれます。ロマンシュ語の地名が数多く残り、知られるスイスの歴史、文化、風景がそこに凝縮されています。雪景色と深紅色に染まる夕景時には、しばし目を奪われてしまいます。



スイスが誇る氷河特急ルートに点在する6大グラウビュンデンエリアを滑り倒す



フリムス&ラークス

Flims & Laax

Destination Guide by Fellow Staff 3



私のおすすめコース
レポート
今井 脩平

Destination Guide
by Fellow Staff 2



ドロミテ南エリア、冬の岩峰群の絶景を見て、滑る贅沢なひととき

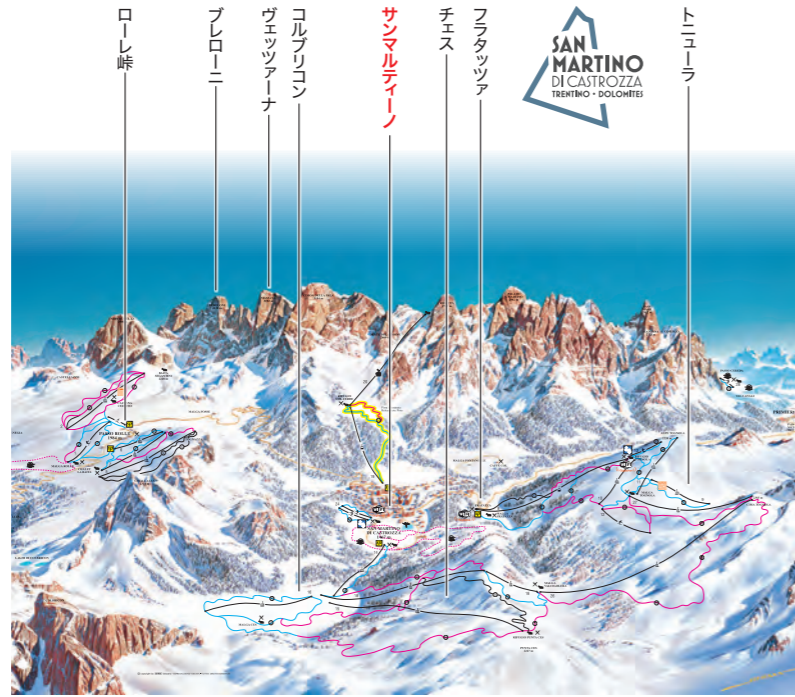
ドロミテ
DOLOMITI
サンマルティーノ・ディ・カストロツツァ

San Martino di Castrozza



人気コースからサンマルティーノ本峰群をバックに記念写真

と約2時間30分、ヴィーゴ・デ
イ・ファッサからはローレ峠を
越え、南下すること約1時間
で到着します。周辺の山々が
ある程度谷深い場所にあるた
め、ボウル状地形の中にある
街は坂道も多く、市内循環パ
スも走っています。スキーの
スタートはまずフラッサーザの



ゴンドラから。晴れていれば朝
イチの足慣らしとして22番コ
ースからスタートするのが私の
おすすめです。
正面には
サンマルティーノ山塊が
堂々と目の前に広がる
斜面が締まっていればこの

斜面をもう2、3本滑っても
良いでしょう。特に中上級の
方はノンストップでロングター
ンを滑るにはうってつけのコー
スです。初中級のスキーヤー
や、なだらかな斜面で足慣ら
しをしたいという方には25番
や27番コースもおすすめ。足
慣らしが済んだら徐々にもう
つのエリアに移ります。途中
にあるトニウラ周辺の19番
コースは全長約2kmで上から
下まで中級斜面で滑りごたえ

満点です。このスキーエリア
は小高い丘同士が繋がってい
るようなエリアで、どんどん
と奥に進んでいくようなレイア
ウトにもなっています。もう
一つのゴルブリコンエリアは比較
的なだらかなコースも多いの
ですが、特に上部のチエス周
辺のコースは中上級斜面なの
で滑り派の方も問題ありませ
ん。午前中までにゴルブリコ
ンエリアまで滑り、お待ちか
ねのランチタイム。サープレス

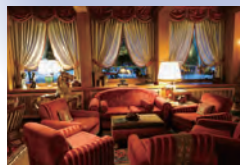
サンマルティーノ



ホテルのモーニング



街にある木製のオートバイ



落ち着いたホテルのロビー

ベニスから車で約2時間30
分、人口1500人。標高14
50mの西ドロミテの玄関口サ
ンマルティーノに着く。山に囲
まれた街であるが、特に片側は
見上げるばかりの岩峰が迫りタ
景では真っ赤に染まる山塊が見
事。ドロミテの中でも古くから
名高い3大観光地でもあり避暑
地、スキーエリアとしても有名。



ホテル数も多い



街のメイン通り

ドロミテの南端にあるスキーエリア



イタリア・ドロミテエリアの
スキーといえば、2026年に
冬季五輪の開催が決まったコ
ルチナダンペンツォや西ドロミ
テのヴァル・ディ・ファッサを連
想される方も多いかと思いま
す。フェローズスキーでも上記2
カ所をドロミテスキーの滞在
拠点にしていますが、今回はフ
アツツァー滞在中に1日スキ
ー遠征で訪れるサンマルティ
ーノ・ディ・カストロツツァを紹
介したいと思います。サンマル
ティーノは夏の避暑地として有
名なボルツァーノやトレントと
同じ特別自治州であるトレン
ティーノ・アルト・アディジェ州
に属しています。当州は山や
湖の自然だけではなく歴史的
な背景も持ちあわせた場所
であり、その歴史は古代ローマ
人やケルト人の征服、中世
近代にかけてはドイツ、イタリ
ア、ラティンのそれぞれの文化
が入り混じります。第一次大
戦頃にはそれまでのオースト
リア領からイタリア領へ流出さ
れ、1948年からは特別自
治州となりました。

別名「南チロル州」とも呼ばれている

そんな歴史深い同州に属す
るサンマルティーノエリアへは
ベニス空港から北西に抜けるこ

トランもあるのでもしっかり休息
するにも問題ありません。ラ
ンチ後はスタート地点のフラ
タツツァエリアまで戻ります。
余裕がある方はサンマルティ
ーノ山塊にも目を向けてみてく
ださい。ヴェッツァーナやブレ
ローニは他の山に比べて山の
色が違います。実はその場所
は同じドロミテでも地質が違
うのです。その他にも太陽が
山肌当たって綺麗に輝く「エ
ンロサデーラ」の名所でもあ
ります。時間によって移り変
わる岩肌の色もぜひお楽しみ
ください。

参加いただいた皆さんと記念写真



本峰と反対側のスキーエリア



特徴ある山並みが有名な山群



ウェアが決まったジュニアスキーヤー



コースから望む特徴ある山群



街にある本物そっくり鹿の像





グリンデルワルト

「Vバーン」計画が始動！ 大きく変化した グリンデルワルトが注目！

雄大な氷河と数多くの秀麗な岩峰のピーク、そして荒々しい大岩壁のアイガー北壁がそびえるグリンデルワルト。一方山麓はアルプスを代表する最もスイスらしいのどかな景観が広がり美しい草原が見渡せます。四季に渡り世界から多くのスキーヤー、ハイカー、観光客が年間を通じて訪れます。

新駅「グリンデルワルト・ターミナル」が誕生

終点駅グリンデルワルト駅の手前に2019年12月から新駅「グリンデルワルト・ターミナル」駅が新しく誕生しました。インターラーケンまたはグリンデルワルトからユングフラウ鉄道で「ターミナル」駅に下車、連絡する通路を歩き新しく開通したメンリッヒェンへのゴンドラ駅に直結します。また今年12月に新しく開通する「アイガーグレッチャー」へのロープウェイ駅に直結する駅にもなります。ターミナル駅は2つのVバーンのスタートとなる駅で多くの乗客の流れも変わると見えます。さらにターミナル駅は店舗やレストラン、スキー保管施設などの工事が続き大型駐車場など最終的には複合施設へと変わります。



Vバーンのステーションとなる複合施設



グリンデルワルト・ターミナル駅のホーム



グリンデルワルト・ターミナル駅



Vバーンへの連絡通路



ゴンドラのチケット売り場



「メンリッヒェンコース」運行開始



新ゴンドラは快適に稼働している



グリンデルワルトでのスキー、ハイキングで最もポピュラーなコースとして知られているメンリッヒェン。アイガー北壁を見ながら、ユングフラウ3山を見ながらの

コースは初心者から上級者まで四季を通して楽しめるグリンデルワルトを代表する人気コースです。そこに旧ゴンドラから新しいゴンドラに変わり完成。従来の所要30分から17分に短縮、4人乗りから10人に輸送力が増え、さらにスピードアップされ従来の2倍の機動力となりました。メンリッヒェンにはウエングンからもロープウェイがあり、新ホテル、レストランなどの新計画などがあり今後はさらに楽しめるメンリッヒェンとなりそうです。

「アイガー・エクスプレス」12月運行開始



12月から運行開始(現在工事中)



今年の12月に新しく完成するロープウェイは現在工事中。完成するとグリンデルワルトの交通事情は一変することになります。ヨーロッパ最高駅「ユングフ

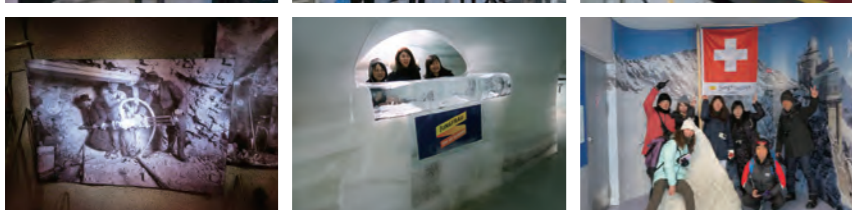
ラウヨッホ」に行くには現在、登山鉄道でグリンデルワルトからクライネ・シャイデック乗り換えて行きませんが、新しくロープウェイが完成すると、ターミナル駅からアイガーグレッチャー駅へ直接15分で行くことができます。1時間あたり2400人を運ぶことができ、最短時間で行くこととなります。交通時間の短縮はユングフラウ展望台などグリンデルワルトの他の楽しめるのはうれしく思います。

ますます充実した展望台 「ユングフラウ・トップ・オブ・ヨーロッパ」

グリンデルワルトにおけるユングフラウヨッホはスイスの中でも代表的な観光地。1912年にアイガー北壁の中を難工事で開通した登山鉄道で3454mの展望台へ。そこには見事なアイスパレスやレストラン、トンネル工事の歴史などエンターテインメント施設が多く揃って見ごたえ充分。さらにスフィンクス展望台



「ユングフラウ・トップ・オブ・ヨーロッパ」では様々な企画が楽しめる





Destination Guide by Fellow Staff

8

アルタ・ヴァル・ヴェノスタ



北イタリアの名峰オルトレスの懐で滑る 圧倒的な景観のスキーアレーナ

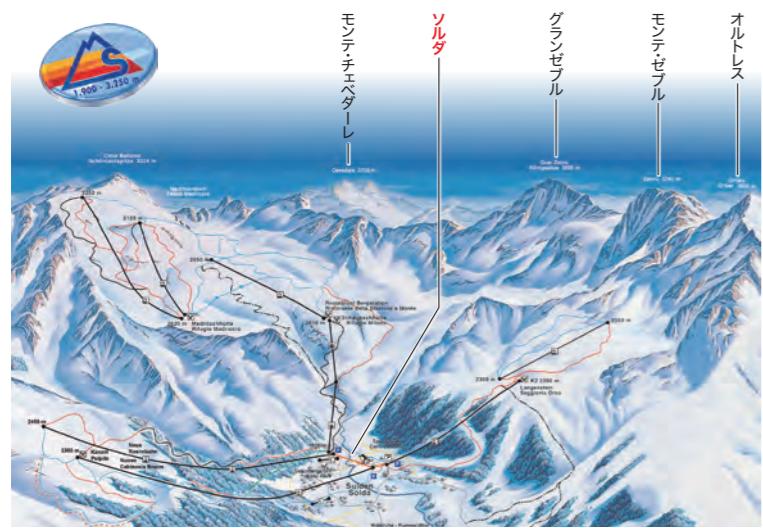
アルタ・ヴァル・ヴェノスタ ALTA VAL VENOSTA ソルダ・アル・オルトレス Solda ai'Ortles

目の前に広がる南チロルの雄峯オルトレス山塊

昨シーズンよりフェエロスキの新しいエリアとして加わったオルトレス・スキーアレーナ。ボルツァーノまで続くヴェノスタ渓谷を中心に15のスキーエリアが点在し、総滑走距離400kmにも及ぶ広大なエリアを1枚のリフトパスで滑ることができます。日本では有名なスキーエリアではありませんが、知る人ぞ知るイタリアとオーストリアに跨る秘境エリアです。滞在地となるマルスから毎日専用車にて日替わりで、最も近いワトレス、イタリアとオーストリアのスキーエリアを1日で滑るベルピアノ・マルガ・ディ・サン・ヴァレンティーノとナウダース、スイスの秘境ミンシュン、氷河エリアのシュナルスタール、グスタボ・トエニ氏の故郷トラフォイ、そしてエリア最大のソルダ・アル・オルトレスをご案内します。

どこからでも名峰オルトレスの雄姿を眺望できる
オルトレスの様々な表情を楽しめます。各エリア小中規模ながら、変化に富んだコースレイアウトと他のスキーエリアと比較すると混雑が少ないため、ストレスなく思いっきりスキー滑走を満喫できます。その中でも、エリア最大のソルダ

しみください。上部エリアは雪質も良く、レベルを問わず楽しめる斜面が広がります。最高地点からロープウェイの中間乗り場までの滑走は、初・中級斜面が長く続きソルダで最も爽やかなロング滑走が可能です。ソルダのベースからロープウェイとは反対方向に伸びるゴンドラに乗るとソルダの街を見下ろしながら滑走できます。その向かいには、オルトレスの北壁直下に迫るエリアが広がり2550mまでリフトが架けられています。ここから見上げる氷河を抱くオルトレスもまた絶景です。このエリアは午後から日陰になるため、昼頃までの滑走がおすすめです。今後の計画では、



はツアーでも1日半訪れ、最もオルトレスが間近に迫り、迫力ある景観が広がります。オルトレスだけではなく、グランゼブル(30859m)とモンテ・ゼブル(3740m)を合わせた南チロルの3山の絶景を堪能いただけます。ホテルからソルダまでは専用車にて約40分で到着し、ベースで標高1900m、最高地点で3250mと標高差1350mもある広大なスキーエリアです。大きく3つのエリアに分かれますが、天候が良ければまずロープウェイを2本乗り継いで2610mまで上がり、その後リフトを2本乗り継ぎ最高地点の3250mを目指します。

壁直下に迫るエリアが広がり2550mまでリフトが架けられています。ここから見上げる氷河を抱くオルトレスもまた絶景です。このエリアは午後から日陰になるため、昼頃までの滑走がおすすめです。今後の計画では、

北壁直下のエリアからロープウェイの中間駅あたりまでアクセスできる新しいロープウェイの建設計画もあり、進化し続けるソルダには今後も期待です。このツアーでは滑走だけではなく、南チロル特有の文化と習慣、そして非常に評価が高いホテルウェアセスクロイツでの滞在も魅力です。



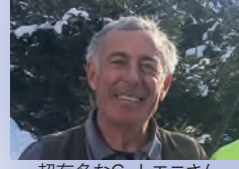
紺碧の空の下、南チロル・オルトレス3山群を眺めながらランチ

トラフォイ

フェエロランチで利用するホテルは、イタリア・アルペンスキー界の英雄、グスタボ・トエニ氏が経営するホテルでいただきます。トエニ氏は、1970年札幌冬季オリンピックで大回転金メダル、回転銀メダルをはじめW杯や世界選手権でも数々のトロフィーやメダルを獲得し、アルベルト・トンバのコーチも務めました。



G・トエニさんのホテル



超有名なG・トエニさん



ホテル内にあるトロフィー類



G・トエニさんを囲んで食事

スキー後にはボリュームのあるランチ

広大なスキーエリアとして知る人ぞ知る

オルトレス3山を背にして

ソルダはスキーのベース基地でもある

快適なスキーは高速ロープウェイで

小さなリゾートソルダの教会





スキー博物館 サンアントンのロープウェイ乗り場 街で見かけたオリジナルグッズ 時にはパウダーも



① ヴァルナーガ展望台へ ② ヴァルナーガ展望台からの絶景 ③ ヴァルナーガ山頂よりサンクリストフ方面 ④ 展望台(2811m)

インスブルックから西へ約100km長いアールベルグトンネルの手前に位置するのがアルペンスキー発祥の地とされるサンアントンです。標高1300mほどのサンアントンからアールベルグ峠に位置するサンクリストフ、ハンス・シュナイダーの故郷ステューベン、さらには高級リゾートとしても知られるレヒへと広大なアールベルグスキーエリアが続きます。近年サンアントンとレヒ方面とを結ぶゴンドラ、フレクセンバーンができたことでより便利にこの広大なエリアを滑ることができるようになりました。サンアントン、サンクリ

ストフから滑り始めると「これだけ滑ってもまだスキーエリアが続くのか!」と驚くほどの奥深さです。サンアントンエリアで晴天の日に上つていただきたいのが、ロープウェイを乗り継いでアクセスするヴァルナーガ(2811m)です。標高はそこまで高くはありませんが、ステューベンやイシユグル、ザムナウン方面などの山々まで望むパノラマを楽しめます。山頂からはスキーコースはあり

ませんが、時々山頂からのオフピステエリアへと滑りだしていくスキーヤーも見られます。サンアントンで見逃せないコースは「カンダハー」

1928年からの歴史を誇る三大クラシックレースの舞台です。斜度かなり急な部分もあるため、スピードコントロールに気を付けてチャレンジしてみてください。アールベルグは人気のスキーエリアだけでなく、混んでいることも多い場所ですが、その中でも比較的空いていることが多いのがステューベンの上部に位置するアルポナエリアです。サンアントンの街ではスポー



ツシヨップが多く軒を連ねているので、アフタースキーのウィンドーシヨッピングも楽しめます。サンアントンのオリジナルグッズを販売するシヨップもあるので、旅の記念にいかがでしょう。そしてスキーの歴史を展示している博物館もありますので足を運んでみてください。夜にはナイトスキーショーも開催され、1日中スキーで楽しませてくれます。サンクリストフでフェローが主に利用するのが3つ星ホテルのヴァルナーガ。3世代でオーストリア国家検定スキー教師という本格派のスキーファミリーです。アットホームはホテル内には数々のトロフィーやサンクリストフにおけるスキーの歴史を感じさせる写真が飾られています。そしてこのホテルが人気のもう一つの理由が食事です。日中のスキー教師からシェフに姿を変えたペーバーさんが見た目も味も楽しめる3つ星レベルとは思えない食事を提供してくれます。スキーエリアそのものの規模やコースが素晴らしいのもちろん、スキーの歴史を感じさせるエリアです。アールベルグを滑る前にはこの地でスキーを学んだ方たちの書物を読むと旅がより一層思い出深いものになるでしょう。



私のおすすめコース
 9 アールベルグ地方
 Destination Guide by Fellow Staff
 レポート 神崎 裕一

一度は訪れたいアルペンスキー発祥の地
 広大なアールベルグを滑る

St. Anton & St. Christoph

アールベルグ地方
 ARLBERG
 サンアントン&サンクリストフ



サンクリストフ



オーストリアスキーアカデミー



故クルッケンハウザー教授



料理も好評なホテルヴァルナーガ

アールベルグ峠に位置し、数軒のホテル、スポーツシヨップ、そしてオーストリアスキーアカデミーがあるのみのサンクリストフの村。非常に小さな村ながらサンアントンやレヒの両方面へのアクセスが便利な場所です。毎朝スキー教師たちが滑る姿からもオーストリアスキーの歴史を感じられます。



スキーインストラクターの滑り



スキーコースが数キロも続く 絶景を見てからスタート 「シュヴァリエ」 Gondola 終点の展望台 スキーエリアにあるテラスでのんびり

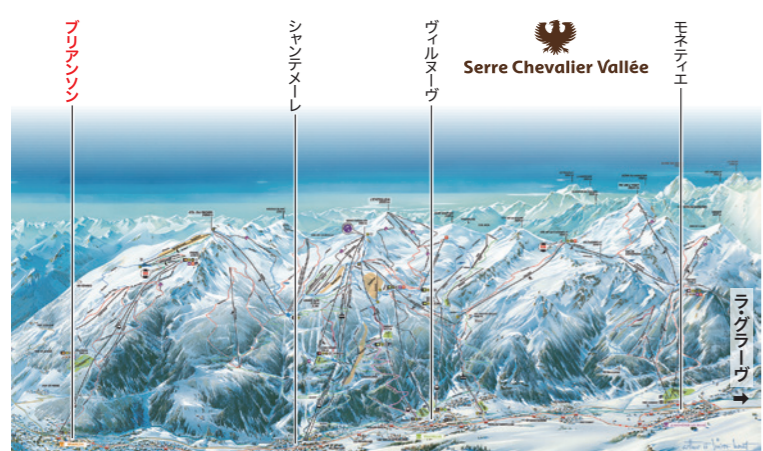


悠々と広がる魅了する南フランスの 広大なスキーエリアを徹底滑る

南フランスといえば、温暖なニースやカンヌを思い浮かべる方が多いのではないだろうか。サザンフレンチアルプスに位置するここセール・シュヴァリエは、フランス最大のエクラン国立公園の近く、良質な雪が多く降ることでも有名です。日本ではあまり名が知れたエリアではありませんが、オリンピック選手を多く輩出するなど、フランスでは一目置かれたスキーリゾートです。イタリアとの国境近くにあり、アクセスもミラノが便利。スキー遠足ではフランスからイタリアへの国境越えスキーもお楽しみいただけます。

1941年にリフトが架けられ営業開始

滑走エリアは横にスキーエリアが並んで約15km、トッパ2800mからの最大標高差1500m、410ヘクタールの面積を誇ります。ベースの街が4カ所あり、世界遺産のブリアンソン、フェロースキーで滞りするシャンテメーレ、そしてヴィルヌーブ、モネティエと続きます。スキーエリアも大きく分けて3カ所あり、各エリアがリフトとゴンドラで接続され効率的なエリア移動と滑走が可能です。中心地シャ



ンテメーレからヴィルヌーブは扇形にコースが広がり足慣らしには最適。東側はモンジュネーブルの奥にイタリア側の山々を遠望できます。ブリアンソン側は上部のオープンバーンから、街に向かつて縦に長くコースが取られており滑り心え充分。世界遺産の城壁要塞もスキーエリアから見下ろすことが可能です。モネティエは絶景のヨーロッパらしいオープンバーン。滑走して行く上部のリフトからはエクラン山群が迫り、近郊最高峰の4102mのバル・ニ・ゼクランの雄姿に圧倒されます。豪雪地帯としても知られ、コンディションが良

ければオフピステも楽しんでいただけるエリアが各スキーエリアに点在しています。サザンフレンチアルプスでの滑走は、フェロリピーターの方におススメできる規模と景観、充実な滑走距離を提供してくれます。

エクスパートウィークでのみご案内するフリーライドスキーの聖地ラ・グラーブは、カラフルな5連ゴンドラが特徴の完全オフピステのフィールド。名峰ラ・メイジュの麓から氷河上を登りTバーと雪上車に乗ると標高約3600mに到達します。遠くアルプス最高峰モンブランやイタリアのモンテローザなどアルプスの絶景と、広々とした氷河からのスキーは上級者のみぞ味わえる素晴らしいエリアとなっています。



展望台からスキーをスタート

ゴンドラ終点からスキーコース全貌を見る



Serre Chevalier

サザンフレンチアルプス
SOUTHERN FRENCH ALPS
セール・シュヴァリエ



ブリアンソン



都市要塞の堅牢な入口



石造りの要塞にある建物



今では様々なショップが並ぶ



メインストリートの道路の真ん中にある水路

ブリアンソンの城壁要塞は17世紀に建造。約1300mの標高に位置し、ヨーロッパで最も高い所にある市です。オーストリアからの侵略を防ぐために作られ、築城の名手と呼ばれたヴォージュが手掛けた施設の1つとして世界遺産に登録。要塞から真正面にブリアンソンのスキーエリア、カテドラルなどを見学できます。

モンジュネーブルからイタリアのクラビエールまで国境越えスキー遠足が可能

タリアンが最高。緩斜面の広がるオープンバーンから林間の上級斜面とバリエーションが豊富です。エクスパートウィークでのみご案内するフリーライドスキーの聖地ラ・グラーブは、カラフルな5連ゴンドラが特徴の完全オフピステのフィールド。名峰ラ・メイジュの麓から氷河上を登りTバーと雪上車に乗ると標高約3600mに到達します。遠くアルプス最高峰モンブランやイタリアのモンテローザなどアルプスの絶景と、広々とした氷河からのスキーは上級者のみぞ味わえる素晴らしいエリアとなっています。



感動の到着、全員での記念写真 登り約4時間で岩峰が見えてきた ここまで登ってからは長い下りが続く 比較的ゆっくりした長い登りが続く 登山事務所前にて登山手続 トーレス・デル・パインへ出発 パタゴニアのホテルとの絶景 中央の島にはホテルがある

いよいよ出発。続後によいよ



数回の橋を渡り、軽い登りが続く、今度は長い下りでチレーノ小屋に到着。川に沿った林道から森林限界を過ぎると本格的な岩場の登りが続き

ます。約1時間の登りが続き高度をどんどん稼ぎ、空が見えるとパインを象徴する3本の塔が突然姿を現しました。南からデ・アゴスティーニ塔(2850m)、セントラル塔(2800m)、モンツイーノ塔(2600m)、こちらも地下から隆起した花崗岩の岩山です。この岩峰の雲が取れ青空になると下に広がるエメラルド色の氷河湖とのバランスが絶妙、色彩がマッチして素晴らし

園すると少し「パインの角」を見ることで、パタゴニアにきたという実感が湧いてきます。ヨーロッパ、ヒマラヤの山々は地球のプレートに押されて盛り上がり山々ができたが、パタゴニアは約1200万年(第三期)地下から真上に隆起した花崗岩の岩山で、これを覆った白亜紀の堆積岩が氷河などによって侵食され硬い岩峰だけが残った特徴ある姿を見せてくれます。そして岩峰の峰々は1日で姿を何度も変化させ、青空かと思つとすぐ雲が出て姿を隠すなど、それは見事な変身です。これらの変化を楽しみ、慣れることもパタゴニアかも知れません。



夕陽に輝く「パインの角」

真昼の迫力充分の「パインの角」

3つの国立公園を歩く 南部パタゴニア縦断15日間

- 1 夕刻：成田または羽田発→北米乗り継ぎ都市へ。北米乗り継ぎ都市→サンチャゴへ。(機中泊)
- 2 午前：サンチャゴ空港で国内線乗り継ぎ→(フェルトモン経由)フンタアレナスへ。(フンタアレナス泊)
- 3 フンタアレナス市内観光後、専用車でトーレス・デル・パイン国立公園へ。カルトグランデ(滝)への軽ハイキングにご案内します。(トーレス・デル・パイン国立公園泊)
- 4 専用車でラス・トーレス小屋へ。トーレス・デル・パイン山群を間近に望むバセ・ラス・トーレスまで展望ハイキングにご案内します。(トーレス・デル・パイン国立公園泊)
- 5 専用車でペオエ湖へ。ペオエ湖を船で横断してパイン・グランデへ、グレイ氷河に向かいグレイ湖畔のハイキングにご案内します。復路はクルーズで戻ります。(トーレス・デル・パイン国立公園泊)
- 6 専用車で名峰フィッツロイ山麓のエル・チャルテンへ。フィッツロイとセロ・トーレを望むロス・コンドレスへのハイキングにご案内します。(エル・チャルテン泊)
- 7 エルピラルからフィッツロイ直下のロス・トーレス湖へのハイキングにご案内します。(エル・チャルテン泊)
- 8 セロ・トーレを望むハイキング後、専用車でエル・カラファテへ。フラミンゴが集まるニメス湖など周辺の軽ハイキングにご案内します。(エル・カラファテ泊)
- 9 専用車でロス・グラシアレス国立公園内のペリト・モレン氷河へ。世界遺産エリアの氷河の観光と氷河トレック(66歳以上の方は氷河クルーズと展望台観光)をお楽しみください。(エル・カラファテ泊)
- 10 エル・カラファテ発→ウシュアアへ。到着後、ティエラ・デル・フエゴ国立公園観光やウシュアア市内観光をお楽しみください。(ウシュアア泊)
- 11 マルティアル氷河展望ハイキングにご案内します。(ウシュアア泊)
- 12 ウシュアア発→フエノスアイレスへ。到着後、タンゴの発祥の地カミートなど市内観光にご案内します。(フエノスアイレス泊)
- 13 フエノスアイレス発→北米乗り継ぎ都市へ。(機中泊)
- 14 北米乗り継ぎ都市→成田または羽田へ。(機中泊)
- 15 夕刻：成田または羽田着

※日程は予定です。内容が変更になる場合があります。

日程▶2020年12/4金~18金
料金▶¥892,000
日程▶2021年1/6水~20水
料金▶¥922,000(のんびりハイキング)
※パタゴニアハイキングツアーの資料・パンフレットをご請求ください。

公園管理事務所を通過し入



大地が生んだ神秘的なパタゴニア 地球の造形美を間近に見る

私のおすすめコース

Destination Guide by Fellow Staff

7

チリ ARGENTINA

パタゴニア

レポート 金子 勝三郎

パタゴニア PATAGONIA トーレス・デル・パイン Torres del Paine

パタゴニアを代表する「トーレス・デル・パイン」を楽しむ with F 78

子子の炭火焼き「アサード」



登山途中で出会った野鳥



大草原の1軒屋レストランで



レストランのマダムと娘さん

南部パタゴニアは羊の産地でもあり、羊の丸焼き料理アサードは香ばしく美味しい。パタゴニアに来たからには、ぜひ食べたい南米料理。全員で囲んで食べると大きな肉もすぐ平らげてしまう、グルーブなどが利用。家族経営での観光客用レストランもパタゴニアでは楽しみのひとつ。



仔羊の炭火アサードをいただく

い風景を作り出しています。さらに移り変わる天候によって姿がどんどんと変化する光景は素晴らしい一言、この絶景に出会えたことを感謝。この景色を堪能してから同じ道を下山するが往復約8時間のコース、余裕を持って1日の

計画を作り、パインを代表するトレッキングコースを楽しんでください。1週間で廻るトレッキングのWコース、グレイ氷河に向うグレイ湖畔コースなど様々のレベルに合った楽しみ方を選んでいただきたいと思ひます。